学校番号	213

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「物理」　（数研出版）						
副教材等	リードα　物理基礎・物理　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

予習より復習に重点をおくのがよい。
授業の後、なるべくはやくに復習し、対応する教科書・問題集と解くとよいだろう。
復習で不明な点は次の授業までに自分で考えたり、調べたり、教員に質問したりするのがよいだろう。
これらの積み重ねを大切にしてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・物理的な現象に対する普遍的な知識を身につける。
・思考実験、演示実験で結果をそれなりの根拠をもって予測できる。
【思考力、判断力、表現力等】
・目的意識を持って観察、思考実験などを行い、日常生活のなかで自然に起きている現象を物理学的に解釈し、それを表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
・自らにとっての未知の現象に対して、科学的な興味をもち、その現象を自ら探究する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物理における基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	事物・事象の中に疑問を見出し、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えや仮設を的確に表現できる。	未知の現象や法則について、理解をしようとしているか、また、そのための手段を自ら実践しているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	力と運動	運動の法則 剛体にはたらく力のつりあい	a:運動の法則について、正確に取り扱うことができる a:剛体にはたらく力のつりあいについて、正確に取り扱うことができる b:剛体が運動をする状況について、説明することができる c:身の回りの物理現象について、学んだ内容と結び付けようとしている	小テスト 定期考査	定期考査	レポート
		仕事とエネルギー保存則 運動量保存則	a:仕事とエネルギー保存則について、正確に取り扱うことができる a:運動量保存則について、正確に取り扱うことができる b:2 物体がお互いに影響する運動について、説明することができる c:身の回りの物理現象について、学んだ内容と結び付けようとしている	小テスト 定期考査	定期考査	レポート
2学期	熱と気体	円運動、単振動、万有引力	a:円運動について、正確に取り扱うことができる a:単振動について、正確に取り扱うことができる a:万有引力について、正確に取り扱うことができる b:円運動の加速度の向きと大きさをベクトルを用いて他者に説明することができる b:さまざまな単振動について、どのような復元力がはたらき単振動をするのかを説明できる c:身の回りの物理現象について、学んだ内容と結び付けようとしている	小テスト 定期考査	定期考査	レポート

		気体の法則 気体分子の運動論	a:気体の法則について、正確に取り扱うことができる a:気体分子の運動について、正確に取り扱うことができる b:熱効率が理論上最大になるような熱機関について考察し、説明することができる c:身の回りの物理現象について、学んだ内容と結び付けようとしている	小テスト 定期考査	定期考査	レポート
3学期	波	波一般	a:波の基本法則について、正確に取り扱うことができる b:どのようにしてドップラー効果が起こるのかを、他者に説明できる c:身の回りの物理現象について、学んだ内容と結び付けようとしている	小テスト 定期考査	定期考査	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度